

會 務

土木學會誌 第十七卷第六號 昭和六年六月

○昭和六年四月十四日午後五時より東京市麹町區丸ノ内帝國鐵道協會に於て講演會を開き會員松村種雪君の「赴戰江水電工事に就て」の講演ありたり。來聽者百八十五名右講演終了後同所に於て有志晚餐會を開催せり。

○准員小田春樹君は（外尾）と改姓せられたり。

昭和六年四月十六日以降五月十五日迄に於て入會の手續を了し名簿に登録したる者下記の如し（○印は轉格を示す）

會 員

○高 凌 美君

准 員

○西 島 尙 義君 石 井 繁 男君 ○森 田 秀 夫君 藤 井 順 治君

○種 谷 實君

學 生 員

行 友 義君 山 野 善 次君 千 田 富 治君 金 塚 久 則君

加 藤 勇君 花 井 實君 山 谷 一 夫君

○下記諸君は退會せられたり

會 員

岡 崎 楨 治君 皿 井 巖君 野 澤 房 敬君

准 員

沈 光 史君 谷 舜君 淺 野 薰君 河 村 貴 康君

安 藤 天 一君 小 林 準 一君 小 坂 田 安 夫君 中 村 義 治君

中 野 義 治君 中 野 貞 衛君 高 橋 惣 市君 島ノ江 善 治君

飯 田 憲 美君 姉 川 繁 勝君

○昭和六年四月十六日以降五月十五日迄に於て寄贈及交換を受けたる雜誌其他下記の通り。

日立機械評論第 4 號	1 冊	日 立 評 論 社
鐵道技術 第 4 號	1 冊	鐵 道 技 術 社
セメント界彙報第 257 號	1 冊	セメント界彙報發行所
帝國學士院第 3 號	1 冊	帝 國 學 士 院
國產機械第 2 號	1 冊	常 設 國 產 機 械 館

鐵と鋼第 3 號	1 冊	日 本 鐵 鋼 協 會
國立公園第 4 月號	1 冊	國 立 公 園 協 會
内外工業時報第 4 月號	1 冊	最 新 工 學 普 及 會
帝國鐵道協會報第 4 號	1 冊	帝 國 鐵 道 協 會
氣象彙報第 11 號	1 冊	林 業 試 驗 場
工業第 57 號	1 冊	大 阪 工 業 會
日立評論第 4 號	1 冊	日 立 評 論 社
日本鑛業會誌第 552 號	1 冊	日 本 鑛 業 會
工業要録第 4 號	1 冊	工 業 資 料 調 查 會
衛生工業協會誌第 4 號	1 冊	衛 生 工 業 協 會
The Excavating Eng. No. 4.	1 冊	三 井 物 産 會 社 機 械 部
三菱電機第 4 號	1 冊	三 菱 電 機 株 式 會 社 神 戶 製 作 所
工事畫報第 5 號	1 冊	工 事 畫 報 社
名古屋工業會々報第 97 號	1 冊	名 古 屋 工 業 會
動力協會々報別冊	1 冊	日 本 動 力 協 會
セメント界彙報第 258 號	1 冊	セ メ ン ト 界 彙 報 發 行 所
東京工業會誌	1 冊	東 京 工 業 會
建築雜誌第 544 號	1 冊	建 築 學 會
工學第 5 號	1 冊	東 京 工 學 社
工人第 114 號	1 冊	日 本 工 人 俱 樂 部 會
日本建築士第 4 號	1 冊	日 本 建 築 士 會
港灣第 5 號	1 冊	港 灣 協 會
セメント工業第 5 月號	1 冊	土 木 建 材 商 報 社
シビル第 5 號	1 冊	シ ビ ル 社
工業之大日本第 4 號	1 冊	工 業 之 日 本 社
電氣學會雜誌第 5 冊	1 冊	電 氣 學 會
啓明會第三十九回講演集	1 冊	啓 明 會
工業化學雜誌第 5 冊	1 冊	工 業 化 學 會
機械學會誌第 169 號	1 冊	機 械 學 會
造船協會雜纂第 108 號	1 冊	造 船 協 會
鐵と鋼第 4 號	1 冊	日 本 鐵 鋼 協 會
業務研究資料第 15-18 號	4 冊	鐵 道 省 大 臣 官 房 研 究 所

鐵道技術第 5 號	1 冊	鐵	道	技	術	社
土木第 5 月號	1 冊	土	木	協	會	
内外工業時報第 5 月號	1 冊	最	新	工	學	普
明電舎ジャーナル第 2 號	1 冊	守	谷	商	會	
工學部紀要第 6~7 號	1 冊	東	京	帝	國	大
電氣製鋼第 5 號	1 冊	電	氣	製	鋼	研
動力第 11 號	1 冊	日	本	動	力	協

准員田中豐君は昭和六年二月，同柴田一雄君は同年三月，學生員早藤正夫君は同年一月逝去せられたり。

本會は謹んで哀悼の意を表す。

雑誌閲覧に就ての會告

下記の雑誌は本會事務所に備付置候間御希望の向は下記時間内御随意に御閲覧相成度候。

閱 覽 時 間

日曜日及祭日休、土曜日自午後一時至同四時、其他自午後四時至同八時。

但し役員會、委員會等開催の日は御斷り致すこと有之哉も計られず候間豫め御承知置被下度候。

備 付 雜 誌

衛生工業協會誌
 機械學會誌
 業務研究資料(鐵道大臣官房研究所)
 建設雜誌
 建築雜誌
 工學部紀要(東大、京大、九大)
 工學報告(東北帝大)
 工業化學雜誌
 工事畫報
 工 政
 工 務

國際建築時論
 造船協會々報
 帝國鐵道協會々報
 鐵 道 鋼 誌
 電 氣 學 會 誌
 電 氣 製 鋼 誌
 土木建築雜誌
 日 立 評 論
 名古屋工業會々報
 滿洲技術協會誌
 其他寄贈雜誌

廣 告 料 (東京市京橋區築地上柳原町八番地 東京第一通信社取扱)
 電話京橋 872 番、振替東京 3069 番

普通廣告 一回一頁 40 圓 一回半頁 25 圓

指定廣告	裏表紙三面對向 及廣告初頁 裏表紙三面 色ア-ト	一回一頁 60 圓
		一回一頁 150 圓
		一回一頁 75 圓

- 指定廣告は凡て一箇年繼續申込のものに限り取扱ふものとす
- 會員自身の廣告に對しては總て上記料金の一割引とす
- 同一廣告の連續掲載申込に對しては半箇年分五割引、一箇年分一割引とす
- 廣告に寫真版又は木版等を挿入する場合は之に要する實費を別に申受くるものとす

緊 急 會 告

土木學會座談會開催のお知らせ

期日 来る七月十五日(水曜日)午後五時より

場所 東京市麴町區丸ノ内三ノ四帝國鐵道協會

話題 土木工事の請負に就て

追て當日の夕食は御隨意なるも便宜簡單なる食事(金50錢程度)を準備致します

昭和六年六月

土木學會

會 告

下記用語調査會第三回幹事會案決定致し候間御意見候はゞ別紙相當欄
に御記入の上 7 月 31 日迄に本學會へ御返送相煩度此段得貴意候

用語調査會幹事長

各 位

第 三 回

用 語 調 査 會 幹 事 會 案

港 灣 之 部 (56語)

備 考

1. 用語調査會にて審議すべき用語を下記部門に分割し各擔當幹事を定む。
河川, 水力電氣, 上水道, 下水道, 水理, 砂防, 港灣, 道路, 軌道, 都市計畫, 材料及施工法, 應用力學,
橋梁及構造物, 鐵道, 測量, 土木機械
2. 本幹事會案は各擔當幹事が原案を作製し幹事分科會にて討議したる後幹事會にて之れを審議し之れ等
に就き委員の意見を求め更に幹事會にて審議せるものなり。
3. 用語に適宜番號を附し且つ見出しは主名詞(英語)の頭字を採り整理に便せり。
4. 用語は日, 英, 獨, 佛の 4 箇國語とし獨逸語の頭字は大字となす。
5. 各國語中 2 種以上ある場合重要なるものより書き下し餘り重要ならざる語は () 中に入るゝこと。
6. 獨, 佛兩國語の性別には (m), (f), (n) を用ふ。
7. 用語中にある假名は平假名とし定義解釋中にあるものは片假名とす。
8. 定義解釋中「 」内の語は用語として別に定義解釋せられあるものなり。

(港灣の部)

種別	用	語	定義解釋	會員意見
No. 12 B	日	立 標	滯筋或ハ岩礁等ノ存在 フ示ス爲ニ設クル標示 設備, 狹義ニハ固定シ タル晝間標示ノモノノ ミヲ指ス	
	英	beacon		
	獨	Bake (<i>f</i>) Landmarke (<i>f</i>)		
	佛	balise (<i>f</i>) amer (<i>m</i>)		
No. 13 B	日	ばーす 繫船所	埠頭繫留船一隻ノ占ム ペキ水域	
	英	berth		
	獨	Liegestelle (<i>f</i>)		
	佛	poste (<i>m</i>) d'amarrage		
No. 14 C	日	ばら船貨	包装ナクシテ其ノ儘積 込ム大量取扱ノ「船貨」	
	英	bulk cargo		
	獨	Stürzgüter (<i>n. pl.</i>)		
	佛	cargaison (<i>f</i>) chargées en vrac		
No. 15 C	日	きやぶすたん 絞 盤	堅胴ヲ以テ索又ハ鎖ヲ 捲取ル装置	
	英	capstan		
	獨	Spill (<i>n</i>)		
	佛	cabestan (<i>m</i>)		

(港灣の部)

種別	用 語		定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 16 C	日	船 貨	船積貨物	
	英	cargo		
	獨	Güter (<i>n. pl.</i>) Fracht (<i>f.</i>)		
	佛	cargaison (<i>f.</i>) chargement (<i>m.</i>)		
No. 17 C	日	こんべーやー	連続運動=依り貨物ヲ 傳送スル機構	
	英	conveyor		
	獨	Conveyor (<i>m.</i>)		
	佛	vis (<i>f.</i>) sans fin conveyor		
No. 18 C	日	船 框	船架『いんくらいん』 等=於テ船ヲ載セ移動 スル框或ハ臺	
	英	cradle		
	獨	Ablaufschlitten (<i>m.</i>)		
	佛	cale (<i>f.</i>)		
No. 19 C	日	起重機 くれん	重量物ヲ上下及ビ水平 =動カシ之レヲ移動セ シムル機械	
	英	crane		
	獨	Kran (<i>m.</i>) Aufzug (<i>m.</i>)		
	佛	grue (<i>f.</i>)		

(港灣の部)

種別	用 語		定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 20 D	日	排水量	船又ハ之レニ類似ノ浮游體ガ排除スル水ノ重量ニシテ普通吨ヲ以テ表ス	
	英	displacement		
	獨	Deplacement (<i>n</i>) Wasserverdrängung (<i>f</i>)		
	佛	déplacement (<i>m</i>)		
No. 21 D	日	どるふいん	船舶繫留ノタメ水中ニ設クル群杭又ハ柱形構造物	
	英	dolphin		
	獨	Dalben (<i>m</i>) Dückdalben (<i>m</i>)		
	佛	duc d'Albe		
No. 22 D	日	吃 水	船舶其ノ他ノ浮游體ノ水中部分ノ深サ	
	英	draught draft		
	獨	Tiefgang (<i>m</i>)		
	佛	tirant (<i>m</i>) d'eau		
No. 23 D	日	浚 渫	水中ノ土砂等ヲ掘リ取ル事	
	英	dredging		
	獨	Baggerung (<i>f</i>)		
	佛	dragage (<i>m</i>)		

(港灣の部)

種別	用 語		定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 24 D	日	浚 渫 船	「浚渫」ノ用ニ供スル機械船	
	英	dredger dredge		
	獨	Bagger (<i>n</i>) Nassbagger (<i>n</i>)		
	佛	drague (<i>f</i>)		
No. 25 E	日	侵 蝕	流水, 波浪等ノ爲岸又ハ構造物ガ徐々ニ減損スルコト	
	英	erosion		
	獨	Abspülung (<i>f</i>)		
	佛	érosion (<i>f</i>)		
No. 26 F	日	尋	水ノ深サヲ表ス尺度ノ一單位, 六呎ヲ以テ一尋トス	
	英	fathom		
	獨	Faden (<i>m</i>)		
	佛	brasse (<i>f</i>)		
No. 27 F	日	防 舷 材	接觸ニヨル損傷防禦ノ爲船又ハ「埠頭」ニ付スル緩衝設備	
	英	fender		
	獨	Fender (<i>m</i>)		
	佛	défense (<i>f</i>)		

(港灣の部)

種別	用 語		定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 28 F	日	對岸距離	沿岸ノ或ル地點ヨリ其ノ對岸迄ノ距離	
	英	fetch		
	獨	Seeraum (<i>m</i>) Streichlänge (<i>f</i>)		
	佛	ouvert (<i>m</i>)		
No. 29 F	日	ふろ-と 浮 子	1. 浮力ヲ補助セシムル爲ノ浮游構造物 2. 標示ノ爲使用スル小浮游物	
	英	float		
	獨	Schwimmer (<i>m</i>)		
	佛	flotteur (<i>m</i>)		
No. 30 H	日	後方地域	其ノ港ヲ通過スル貨物ノ集散スル背後ノ地域	
	英	hinterland		
	獨	Hinterland (<i>n</i>)		
	佛			
No. 31 H	日	ほいすと 揚 卸 機	貨物ヲ上下ニ動カス機械	
	英	hoist		
	獨	Aufzug (<i>m</i>)		
	佛	élévateur (<i>m</i>) monte-charge (<i>m</i>)		

(港灣の部)

種別	用 語		定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 32 H	日	ほつぱー	底或ハ側ニ扉ヲ有スル 漏斗狀ノ槽	
	英	hopper		
	獨	Bumpf (<i>m</i>)		
	佛	trémie (<i>f</i>)		
No. 33 I	日	物 揚 場	斜面又ハ階段トセル斜 「埠頭」	
	英	inclined wharf		
	獨			
	佛			
			No. 34 保留	
No. 35 L	日	棧 橋	船ト陸岸トノ連絡ノ爲 水中ニ造ル橋形構造物 又ハ「ぼんつーん」	
	英	landing stage landing bridge landing pier		
	獨	Landungsbrücke (<i>f</i>)		
	佛	appontement (<i>m</i>)		
			No. 36 削除	
No. 37 M	日	海 工	港灣其ノ他臨海ノ工事 ノ總稱	
	英	maritime work		
	獨	Seebau (<i>m</i>)		
	佛	travaux (<i>m. pl.</i>) maritimes		
			No. 38 保留 No. 39 削除	

(港灣の部)

種別	用	話	定義解釋	會員意見
No. 40 M	日	繫船環	小型船繫留ノ爲「埠頭」 等ニ設クル環	
	英	mooring ring		
	獨	Schiffsring (<i>m</i>)		
	佛	organeau (<i>m</i>)		
No. 41 M	日	まうんど	「防波堤」又ハ海壁等ノ 一部トシテ捨石類ヲ堆 積セルモノ	
	英	mound		
	獨	Stadel (<i>m</i>)		
	佛	aire (<i>f</i>) murée		
No. 42 N	日	小潮	半月期ノ「潮汐」	
	英	neap tide		
	獨	Nippflut (<i>f</i>)		
	佛	petite marée (<i>f</i>)		
No. 43 O	日	外港	船舶ノ假泊等ニ充ツベ キ港ノ一部	
	英	outer harbour		
	獨	Vorhafen (<i>m</i>)		
	佛	avant-port (<i>m</i>)		

No. 44 保留

(港灣の部)

種別	用 語		定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 45 P	日	ぽんつーん 函 船	1. 貨物運送以外ノ用 = 供スル扁平底ノ船形 構造物 2. 船渠ノ浮扉	
	英	pontoon		
	獨	Ponton (<i>m</i>)		
	佛	ponton (<i>m</i>)		
No. 46 Q	日	岸 壁	前面 = 接シテ船舶ヲ繫 留シ且荷役ヲナシ得ル 築設物, 狹義 = 於テハ 上記ノ築設物ノ内壁狀 ノモノヲ指ス	
	英	quay quaywall		
	獨	Kaimauer (<i>f</i>) Kajen		
	佛	quai (<i>m</i>)		
No. 47 R	日	護 岸	侵蝕又ハ崩壞ヲ防禦ス ル爲岸 = 造ル構造物	
	英	revetment		
	獨	Bekleidung (<i>f</i>) Böschungen (<i>m</i>)		
	佛	revêtement (<i>m</i>)		
No. 48 R	日	碎 岩 船	岩石ヲ破碎スル装置ヲ 有スル船	
	英	rockcutter		
	獨	Felsbrecher (<i>m</i>)		
	佛	dérochement (<i>m</i>)		
			No. 49 保留	

(港灣の部)

種別	用	語	定義解釋	會員意見
No. 50 S	日	上 屋	「埠頭」=アル建物ニシテ「船貨」ノ保護, 仕分, 短期ノ置場, 或ハ船客用=充ツルモノ No. 59 ト合併セリ	
	英	shed transit shed		
	獨	Schuppen (<i>m</i>)		
	佛	hangar		
No. 51 S	日	穀 倉	穀物ヲ貯藏スル堅筒形構造物	
	英	silo		
	獨	Silo (<i>m</i>) Getreidespeicher (<i>m</i>)		
	佛	silo (<i>m</i>)		
No. 52 S	日	横 棧 橋	陸岸=並行シテ設ケタル「棧橋」	
	英	shore bridge		
	獨	Landungsbrücke (<i>f</i>)		
	佛	appontement (<i>m</i>)		
No. 53 S	日	すりんぐ	1. 釣揚ゲラル、物=掛ケル索又ハ鎖 2. 「起重機」ヲ以テ物ヲ釣上グルコト	
	英	sling		
	獨	Stropp (<i>m</i>)		
	佛	élingue (<i>f</i>)		

(港灣の部)

種別	用 語		定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 54 S	日	船 架 路 斜 路	船又ハ「沈函」等ヲ進水 或ハ上架セシムル爲表 面ニ勾配ヲ付セル築造 物	
	英	slip slipway		
	獨	Helling (<i>f</i>)		
	佛	cale (<i>f</i>) de construction		
No. 55 S	日	深 淺 測 量	水ノ深サヲ測ルコト	
	英	sounding		
	獨	Loten (<i>n</i>)		
	佛	sondage (<i>m</i>)		
No. 56 T	日	大 潮	新月期又ハ滿月期ノ 「潮汐」	
	英	spring tide		
	獨	Springflut (<i>f</i>)		
	佛	grande marée (<i>f</i>)		
No. 57 T	日	潮 汐	主ニ月及ビ太陽ノ引カ ニ依リテ起ル海面ノ昇 降現象	
	英	tide		
	獨	Gezeit (<i>f</i>) Ebbe (<i>f</i>) und Flut (<i>f</i>)		
	佛	marée (<i>f</i>)		

(港灣の部)

種別	用 語		定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 58 T	日	噸 量	船舶ノ大サヲ噸ニテ表シタルモノ、英語ノtonnage = ハ外國貿易船ガ開港 = 入港シタル時ニ課セラル、稅ヲ意味スルコトアリ No. 59 ハ No. 50 = 合併	
	英	tonnage		
	獨	Tonnengehalt (<i>m</i>) Tragfähigkeit (<i>f</i>) Tragvermögen (<i>n</i>)		
	佛	tonnage (<i>m</i>)		
No. 60 W	日	倉 庫	貨物ノ長期藏置ヲ目的トスル建物 No. 147 ト合併セリ	
	英	warehouse godown		
	獨	Dager hous (<i>n</i>) Speicher (<i>m</i>)		
	佛	magasin (<i>m</i>)		
No. 61 B	日	ばるくへつど 隔 壁	1. 「棧橋」背面等ニ於ケル土砂ノ流出スルヲ防グ爲ノ壁 2. 船體ヲ横ニ仕切りタル壁	
	英	bulkhead		
	獨			
	佛			
No. 62 D	日	でりつく 動臂起重機	斜出セル柱狀ノ臂ヲ有スル「起重機」ニシテ其ノ臂ノ仰角ヲ變化シ得ルモノ	
	英	derrick		
	獨	Derrickkran (<i>m</i>)		
	佛	grue (<i>f</i>) de type derrick		

(港灣の部)

種別	用 語	定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 63 E	日 潮 候 時	月ガ或ル地點ノ子午線 ヲ通過シテヨリ其ノ地 點ノ滿潮迄ノ時間	
	英 establishment of port		
	獨 Hafenzzeit (<i>f</i>)		
	佛 établissement (<i>m</i>) d'un port		
No. 64 C	日 雜 貨	廣義 = 於テハ「ばら船 貨」ニ屬セザル「船貨」 狹義 = 於テハ品種包裝 重量及ビ大サノ一定セ ザル「船貨」	
	英 general cargo		
	獨 Stückgut (<i>n</i>) gemischter Güter		
	佛		
		No. 65 保留	
No. 66 L	日 ら ん ち	水上交通用ノ小型自航 船	
	英 launch		
	獨 Barkasse (<i>f</i>)		
	佛 chaloupe (<i>f</i>)		
		No. 67 保留	
No. 68, 1 R	日 埋 立	水面ヲ埋メテ新ニ陸地 トナスコト	
	英 reclamation		
	獨 Auflandung (<i>f</i>) Kolmation (<i>f</i>)		
	佛 Colmatage (<i>m</i>)		

(港灣の部)

種別	用 語		定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 68, 2 R	日	干 拓	水面ヲ締切り排水シテ 新=陸地トナスコト	
	英	reclamation		
	獨			
	佛	assèchement (<i>m</i>)		
No. 69 S	日	すばつど 柱 礎	船舶ノ位置ヲ固定スル 爲船上ヨリ水底=降下 スル柱狀物	
	英	spud		
	獨	Schiffsfuss (<i>m</i>)		
	佛	béguille (<i>f</i>)		
No. 70 S	日	船舶荷役業者	「船貨」ヲ荷役スルコト ヲ業トナス者	
	英	stevedore		
	獨	Stauer (<i>m</i>)		
	佛	arrimeur (<i>m</i>)		
No. 71 T	日	てるふあー	架空ノ軌道上ニ捲揚機 ヲ移動センメ貨物ヲ懸 垂シ運搬スル装置	
	英	telpher		
	獨	Hängebahnen (<i>f. pl.</i>)		
	佛	transporteurs (<i>m. pl.</i>) aériens		

(港灣の部)

種別	用 語		定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 72 T	日	積 揚	「倉庫」又ハ「上屋」内ニ テ貨物ヲ積揚グルコト	
	英	tiering		
	獨			
	佛	amoncement (<i>m</i>) entassement (<i>m</i>)		
No. 73 T	日	導 流 工	水流ノ方向ヲ一定セシ ムル爲ニ設クル構造物	
	英	training work		
	獨	Leitwerke (<i>f. pl.</i>)		
	佛	travaux (<i>m. pl.</i>) d'aménagement		
No. 74 T	日	曳 船	他船ヲ曳キ又ハ押スコ ト等ヲ目的トスル船	
	英	tug boat		
	獨	Schleppdampfer (<i>m</i>) Schleppboot (<i>m</i>)		
	佛	remorqueur (<i>m</i>)		
No. 75 W	日	埠 頭 波 止 場	船ヲ横付ニシテ「船貨」 船客ノ揚卸ヲナス場所 ノ總稱	
	英	wharf		
	獨	Kai (<i>m</i>)		
	佛	quai (<i>m</i>)		

寄稿に関する注意事項

- (1) 御寄稿は成るべく本會の原稿用紙を用ひ横書きとすること、原稿用紙は御請求次第送附す。
 - (2) 御寄稿は止むを得ざる場合の外は成るべく本會の原稿用紙 200 枚（本會誌 50 頁）程度とされたし、若し前記頁數を超過する場合は適宜其の程度に縮少を御願ひすることもあるべし。
 - (3) 假名は平假名とし、數字はなるべくアラビア文字を用ひられたし。
 - (4) 歐字は特に明瞭に認むること。
 n と u , u と v , r と v , a と α , r と γ
其の他頭字と小字とを判然たらしむる事。
 - (5) 原稿には必ず冒頭に英文表題及内容梗概を添附されたし。
 - (6) 附圖附表に就ては次の各項に御注意ありたし。
 - (イ) 圖面はその儘縮寫し得る様にトレーシング・ペーパー、オイル・ペーパー、トレーシング・クロス等とす。
 - (ロ) 凡て墨色を用ひインキ類或は彩色を施さざる事。
 - (ハ) 方眼紙は青野のものを用ひ（黄色、赤色の罫は使用せざる事）縦横線を必要とする部分には豫め墨線にて之を描き置かれたし。
 - (ニ) 圖表中の文字、數字は特に大きく肉太に書し縮寫したる後明瞭たらしむる事。
 - (ホ) 圖表類は製版の都合上可なり汚損するものと豫め御含み下されたし。
- (7) 寫眞は特に明瞭なるものを送られたし。
- (8) 講演、論說報告の各欄に掲載の分には抜刷 20 部を寄稿者に贈呈するものとし、尙寄稿者の希望に依り實費にて御要求に應ずる事あるべし。
算式其の他の記し方大體標準。
- (1) 本文、文字間に算式を挿入する場合には次の如く記すこと。 a/b と書き $\frac{a}{b}$ を避けること。 $(a+b)/(c+d)$ と書き $\frac{a+b}{c+d}$ を避けること。
- (2) 獨立したる列に算式を記す場合は次の如く記すこと。 $\frac{1}{3}x$ と書き $\frac{x}{3}$ を避けること。 $\frac{1}{2}(a+b)$ と書き $\frac{a+b}{2}$ を避けること。 $\frac{a}{b+c/d}$ と書き $\frac{a}{b+c\frac{1}{d}}$ を避けること。
- (3) 千以上の數字は 53 247 000 の如く 3 つ單位に間隔をあけること。
- (4) 名數は次の如く記し括弧の中の様に書くことを避くること。
83.4 尺（八丈三尺四寸）、7 吋（七吋）、35 錢（三十五錢）、13.56 圓（十三圓五十六錢）、1~4 時間（一乃至四時間）、88 326 噸（八萬八千三百二十六噸）、1931 年 1 月 1 日（千九百三十一年一月一日）。

新入會者にして既刊會誌希望者に告ぐ

本會々誌は新入會者には入會の月より以降發行に係るものより配布致すべくに付其の以前の會誌御希望の場合は一部に付下記金額振替口座東京一六八二八番に拂込み用紙通信欄に其旨記入請求せられたし

殘 部 内 譯

第五卷一號二號	一部	金壹圓	圓
第六卷六號	同	金壹圓	圓
第七卷二號三號四號	同	金壹圓	圓
第八卷一號	同	金貳圓	圓
第九卷一號二號三號五號六號	同	金貳圓	圓
第十卷二號三號四號五號六號	同	金貳圓	圓
第十一卷二號	同	金貳圓	圓
第十二卷二號三號五號六號	同	金貳圓	圓
第十三卷二號三號六號	同	金貳圓	圓
第十四卷一號二號三號四號五號六號	同	金貳圓	圓
第十五卷一號二號三號四號五號六號	同	金貳圓	圓
同 七號八號九號十號十一號十二號	同	金壹圓	圓
第十六卷一號二號三號四號五號六號	同	金壹圓	圓
同 七號八號九號十號十一號十二號	同	金壹圓	圓
第十七卷一號二號三號四號五號	同	金壹圓	圓
東京市内外交通に關する調査書	同	金拾圓	圓
震害調査報告書(一、二、三)	同	金貳圓	圓
土木工事寫真集	同	金貳圓	圓

本會會員轉居又は旅行の場合の注意

會員の住所の不明なるときは會誌の配布を始め其他通信上に差支候に付御轉居の際は至急明細に御通知相成度又御旅行等にて御不在となるも會費支辨には差支なき様御配慮相成たし

會 費 納 付 に 付 注 意

本會々費は下記の通りにして本會より發する振替集金に對し是非御支拂願度事若し此の集金書へ十五日間中三回の取立金支拂なき場合は最寄郵便局に就き本會振替口座東京一六八二八番に(拂込用紙通信欄に會費たる事を記入の事)御拂込相成度尙會費一時納付の御豫定又は其の他の都合に依り支拂なき場合は直に御通知相煩度

朝鮮滿洲の一部及び青島等振替貯金を取扱はざる地に居住せらるゝ會員は納期の翌月末頃迄集金を受けざるときは爲替其他の方法に依り直ちに御送金相成たし

會員種格	會費年額	自一月 至四月 第一期分二月徴收	自五月 至八月 第二期分六月徴收	自九月 至十二月 第三期分十月徴收
會 員	金拾八圓	金六圓	金六圓	金六圓
准 員	金拾貳圓	金四圓	金四圓	金四圓
學 生 員	金七圓五拾錢	金貳圓五拾錢	金貳圓五拾錢	金貳圓五拾錢

新に入會したるものは月割算として入會の翌月集金を發す

會 費 未 納 に 付 注 意

會費は從來年額を第一期第二期第三期に分割し毎年二月六月十月に振替貯金郵便として取立方を郵便局に依託の處往々集金郵便に對して故なく支拂を拒絶し尙他の方法に依りても送金なき者あれ共斯くては會費滯納者として遺憾ながら規則第十三條第一項に依り遂に會誌の配布を停止せらるゝに至るべく又本會に於ても未納金督促の手數一通ならず故に今後右様のことなき様特に御留意の上集金郵便に御拂込相成たし

會 誌 未 着 の 場 合 の 注 意

會誌は毎年毎月十五日(印刷又は原稿等の都合に依り遅延する事あり)に發行し漏なく配布すべくに付未着の場合には一應本會に御照會相成たし從來往々發行後數ヶ月經過して照會せらるゝ向あるも斯くては殘部皆無となり遺憾ながら配布不可能のことあるべきに付御留意相成たし